

# Trinity Bell Choir Christmas Concert 2015



キャロルで綴る「クリスマスの祈り」

原作 ブライアン・モーガン



## オープニング

ガウデアムス 作曲 アーノルド・B. シャーマン

### 1. 天使の調べ 作曲 メンデルスゾーン & グローリア / 編曲 シンシア・ドブリンスキー

クリスマスの1日目 《喜び》

オルガン J.M. バッハ作曲「甘き喜びの内に」

聖書 「見よ、わたしの僕らは心の喜びに声を上げる。」イザヤ書 65章14節

### 2. コベントリー・キャロル、イギリスのキャロル / 編曲 ミカエル・ヘルマン

クリスマスの2日目 《吐息》

オルガン F. ピーターズ「久しく待ちにし」

聖書 「あなたを避けどころとする者は皆、喜び祝いとこしえに喜び歌います。

み名を愛する者はあなたに守られ、あなたによって喜び誇ります。」聖書 詩編5編12節

### 3. さやかに星はきらめき 作曲 アドルフ・アダン / 編曲 ダグラス・ワグナー

《デュエット 中野響子、眞鍋香苗、ピアノ伴奏 篠田祥子》

クリスマスの3日目 《涙》

オルガン フランツ・リスト「泣き、嘆き、悲しみ、おののき」による変奏曲より

聖書 「あなたは私の嘆きを数えられたはずです。あなたの記録にそれが載っているではありませんか。あなたの皮袋に私の涙を蓄えてください。」詩編56編9節

～ご一緒に歌いましょう～

### 4. 聖しこの夜 作曲 フランツ・グルーバー / 編曲 キャシー・モックルバスト

クリスマスの4日目 《静けさ》

オルガン R.C. ウィルソン作曲「我らと共におられたもう神」

聖書 「人よ、何が善であり主が何を前にお前に求めておられるかはお前に告げられている。

正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩むこと、これである。」ミカ書6章8節

### 5. 三人の博士の歌 作曲 ジョン・H・ホプキンス / 編曲 シンシア・ドブリンスキー

クリスマスの5日目 《知恵》

オルガン チャールズ・キャラハン「この日、地は輪となり」

聖書 「何事にも目覚めている人は恵みを得る。主に依り頼むことが彼の幸い。心に知恵のある人は聡明な人と呼ばれる。見識ある人にはその見識が命の泉となる。」箴言16章20節

### 6. 安かれわが心よ 作曲 ヤン・シベリウス 《ギター独奏 西野修平》

クリスマスの6日目 《忍耐》

オルガン デイヴィット・ケルヴィン「われらを喜びで満たしたまえ」

聖書 「沈黙して主に向かい、主を待ち焦がれよ。

繁栄の道を行く者や、悪だくみをする者の事で苛立つな。」詩編37編7節

### 7. ものみなこぞりて 編曲 ラニ・スミス 《オルガン独奏 福田のぞみ》

クリスマスの7日目 《勇気》

オルガン オットー・アベル「いざ来ませ異邦人の救い主よ」

聖書 「強く、また雄々しくあれ。恐れてはならない。うろたえてはならない あなたの神、主は、あなたと共に歩まれる。」申命記31章6節

† 休 憩 †

8. 飼い葉おけの中で 作曲 W.J.カークパトリック&ジェームス R. マレイ / 編曲 シンシア・ドブリンスキー  
クリスマス8日目 《憐みの心》

オルガン ハンス・シュマン＝プティ「憐みは我に來たもう」

聖書 「正義と真理に基づいて裁き、互いにいたわり合い、憐み深くあれ」ゼカリヤ書7章9節

9. ピック・ア・ウィナー 作曲 ルー・ギリス

クリスマス9日目 《働く喜び》

オルガン ドメニコ・ツイポーリ「パストラレー」

聖書 「技に熟練している人を観察せよ。彼は王に仕え、怪しい者に仕えることはない。」箴言22章29節

10. 祈り 作曲 アーノルド・B・シャーマン

クリスマス10日目 《信仰》

オルガン デイヴィッド・H. ヒガルティ「マリアの歌」

聖書 「神に従う人は信仰によって生きる。」ハバクク書2章4節

11. 世のならぬさきに 編曲 デイヴィッド・シャーウィン 《オルガン 福田のぞみ》

クリスマス11日目 《望み》

オルガン フロール・ピーターズ「世のならぬ先に」

聖書 「主よ、あなたは私の希望。私は若いときからあなたに依り頼み、母の胎にあるときから、あなたに依りすがって来ました。」詩編71編5節

～ご一緒に歌いましょう～

12. 神の御子は今宵しも 作曲 ジョン・F・ウェイド / 編曲 シンシア・ドブリンスキー

クリスマス12日目 《愛》

オルガン チャールズ・カラハン「世のならぬさきに」

聖書 「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。」コリント人への第一の手紙13章13節

13. クリスマス・フェスティバル 作曲 レオニー・アンダーソン / 編曲 M.L.トンプソン

オルガン デイヴィッド・シャーウィン「ダヴィデの村里」

### Trinity Bell Choir より皆様へ

Trinity Bell Choir (トリニティー・ベル・クワイア) は西南女学院大学、大学短期大学部のハンドベルクワイアの卒業生によって誕生したグループで、現在、日本バプテストシオン山教会を拠点に活動しております。今年創立32年を迎えた女学院のハンドベルクワイアの卒業生たちが各世代から集まり、夫々に学生時代に女学院のベルを通して頂いた恵みを卒業後も多くの方々と分かち合いたいという願いから、今年7月にクワイアを結成しました。

クワイア名の“Trinity Bell Choir”の“Trinity”とは三つ組のこと。キリスト教用語では神・キリスト・聖霊を一つとみる「三位一体」を意味します。私たちの活動が、神様を中心として、多くの方々と間に美しい調和をもたらすことが出来ますよう願ってこのように名づけました。

今回の演奏会テーマに選びました「クリスマスの祈り」は、ブライアン・モーガン (著)、セルジオ・マルティネ (絵) によって出版された大人のための絵本「クリスマスの祈り The Legend of the Christmas Prayer」に私なりの脚色を加えたものです。原作には、聖書の箇所と12の祈りの言葉が書かれているだけで、登場人物の男性が黙想する場面などは書かれていません。しかし、このクリスマスに、私たちはどのような思いで隣人を思うことが出来るかについて、この物語を通して皆さんと一緒に考えてみたいと思い創作しました。